

(報道資料)

## Agoopの「マチレポ」がパスコの「GeogrAPI」を採用 信頼の地図機能をAPI連携で実装、高度な商圈分析を実現

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下「パスコ」）は、長年の地理情報システムの開発で培ったノウハウを多様なシステム開発に手軽に実装できる地図API「GeogrAPI（ジオクラピー）」<sup>※1</sup>を提供しています。

このたび、パスコの「GeogrAPI」が、ソフトバンク株式会社の子会社で、位置情報を活用したビッグデータ事業を手がける株式会社Agoop（本社：東京都渋谷区、以下「Agoop」）が展開する人流マーケティングツール「マチレポ」<sup>※2</sup>の商圈分析の機能強化に採用されましたので、お知らせします。

まちづくり、観光振興、商業分析などの分野で豊富な利用実績を持つAgoopの「マチレポ」が、「GeogrAPI」を採用することで、“実態に即した徒歩での到達圏商圈”の設定が可能となり、商圈分析における人流データの高度利用を実現しました。

※1：「GeogrAPI」は、パスコの登録商標です

※2：「マチレポ」は、Agoopの登録商標です



歩行空間ネットワークを利用した「マチレポ」の商圈分析画面（提供:Agoop）

### ■ 背景

近年、商圈の分析手法は、エリアごとの人口統計などの静的データをもとに分析する「仮説検証型」から、スマホの位置情報を使って人の流れを把握する動的データ（人流データ）をもとに分析する「効果検証型」へと変化しています。

このような市場ニーズに呼応するためAgoopは、既存サービスの課題の一つであった「より現実に即した綿密な評価を実現」するため“徒歩での到達圏商圈”の機能強化を検討されていました。

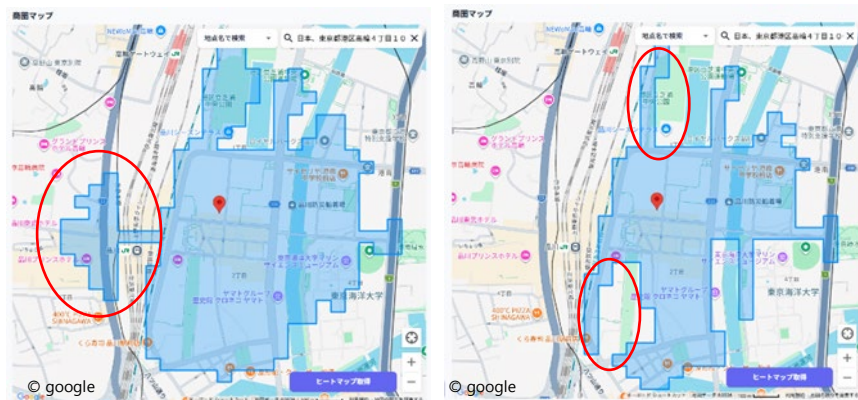
## ■ 「GeogrAPI」×「マチレポ」の効果

パスコが提供する「GeogrAPI」は、既存システムや新たなシステム開発時に、高度な空間情報処理ロジックをパーツ化し、手軽に実装することができる地図 API サービスです。既に多くの稼働実績を持つ商圈分析や物流支援システムにも実装されています。

この度、Agoop の「マチレポ」に採用されたポイントは以下の3つがあげられます。

- ① 徒歩での移動ルート（歩行空間ネットワーク）が利用できること
- ② API サービスでパーツ提供されていること
- ③ 実績豊富で信頼できる空間情報処理ロジックを提供していること

歩行空間ネットワークを考慮した商圈設定では、駅構内や歩道橋、歩行者専用通路といった実際に人が通れる空間を反映しているため、車両などが移動するルート（道路ネットワーク）では対象から漏れていたエリアの抽出が可能になり、人流データの分析価値を高めました。



同一地点までの徒歩と自転車を利用した到達圏圏の比較 徒歩 10分(左)と自転車 3分(右) (提供:Agoop)  
徒歩では駅構内を通して商圈の広がりがあり、自転車では商業施設や公園内を除いていることが分かる

「GeogrAPI」の機能や仕様、FAQなどの詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pasco.co.jp/biz/app-soft/geograpi/>

(ご参考) Agoop 「マチレポ」: <https://agoop.co.jp/service/machirepo/>

## ■ 今後について

パスコは今後も、ご採用頂いている企業の声や市場、エンジニアが求める機能などを「GeogrAPI」に反映しながら、より使いやすい API 開発を続けていきます。そして、空間情報技術を活用したサービス提供を通じて、「データ×地図」の活用を支援していきます。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ <https://www.pasco.co.jp/>

(報道機関) 広報部 [press@pasco.co.jp](mailto:press@pasco.co.jp)

(お客様) システム事業部 [pd.pasco.co.jp/l/915541/2024-04-24/ng4vm](https://pd.pasco.co.jp/l/915541/2024-04-24/ng4vm)

プレスリリースの内容は発表時のものです